

雑談

あまり過去を振り返ることをしない私ですが、先日(10/10)文化事業で私の舞踊の師に協力をもらい、10年ぶりの再会となりました。事業を終えて数日経過し、“師”という存在があることに改めてありがたみを感じています。子弟ではありますが、教室を持つとか創作側を経験することで、少し仲間となれる距離もあるかもしれません。特にその向こう側に目的はなく、ただ良いモノが作りたいという時間の共有は、若く青かった頃と変わらずストレートに思いをぶつけることができる。それは貴重なことだと思います。子ども里山そうぞう学校もそんな存在になれたらと思いました。ゴリラの研究の第一人者、山極寿一先生が、信頼関係は時間と体験の共有！といったことをおっしゃっていました。森の劇場プロジェクトの中で、大人もそのような信頼関係を紡いでいきたいと思った一コマでした。

<10月1日(金)～10月27日(水)活動一覧>

日程	事業	実施状況
2日(土)9:30～11:30	河芸公民館アウトリーチ「声を楽しむ創作倶楽部」	実施(長野・山本)
3日(日)9:00～15:00	子ども里山・舞台表現クラブ	実施(長野・伊藤):別蘭報告【1】
9日(土)14:00～15:30	山の風club	実施(伊藤):篠笛チャレンジ(・ω・)
10日(日)10:00～12:00	芸術映像鑑賞会と専門家との出会い『バレエ映像～ジゼル全幕～』	実施(企画チーム):別蘭報告【2】
16日(土)6:30～7:00	オハヨガ	10月で企画終了
17日(日)10:00～15:00	2021子ども里山そうぞう学校「山で遊ぶ～白山町二俣～」	実施(長野・小川):別蘭報告【3】
23日(土)14:00～15:30	山の風club	実施(伊藤):篠笛 + 和太鼓
24日(日)9:30～15:00	子ども里山・自然活動クラブ	実施(井谷・尾崎・長野):別蘭報告【4】 本年度終了
25日(月)15:00～16:00	官民協議「森劇第二期の提案」	“本日みんなで考えてみよう！”

<予告>

- ◆子ども里山・舞台表現クラブ 舞台リハーサルへ入ります。
- ◆2021子ども里山そうぞう学校 舞台リハーサル(能楽:仕舞「老松」)へ入っていきます。
- ◆Wellbeing Tour10月の旅(10/29) ... 美杉町にじまる農園さんを訪ねるの巻
- ◆河芸公民館「声を楽しむ創作倶楽部」(10/30)..... 最終おさらい会開催

<「里山ばんざい芸術祭」 12月3日(金)～12月5日(日)>

目的 : 劇場の持つコミュニケーション力を活かし、新しい劇場機能(社会包摂空間)を多くの市民と想像し続ける場(現代のまつり場)にする。

市民創作劇場 : 12/5(日)14:00～15:00 『山神の勸進 ^{やまのがみ} ^{かんじん} ～心のよりどころ～』 参加者全員にお手玉プレゼント！一緒に遊ぶよ(≧▽≦)/

何かしら不安材料が山積みになってきている今、続くコロナ禍を良いきっかけとして、古の八百万の神を感じ、大自然と共にあっただろう暮らしに思いを馳せ、この芸術祭が人として生まれてきた意味や、生きとし生けるものみんなにとって気持ちのいい愉快的暮らしとは何だったのかを、それぞれが想像し、新たに一步を踏み出す現代のまつり場にしたいと思います。
 今年は、舞台表現クラブがお世話になった方々にも舞台に上がってもらい、ライブコンサートスタイルを取って今までにない創作劇場になります。
 多くの人に声をかけてもらいたいと願います。

周辺施設 : 中庭に創作“茅の輪”が出現する予定！ みんなで大祓いをしよう(*´▽`*)
 その他に、里山ポスト、SHOPも開催です✦

関連講演会 : 12/3(金)13:30～15:00 『地域のよりどころ ～東光寺の薬師さん～』(白山道しるべの会:森川正美氏)
 昔々から、地域でお世話をしている東光寺さんを通して、地域という共同体のあり方を考える機会になっても嬉しいと思います。是非ともご参加ください。

【1】子ども里山・舞台表現クラブ 「美杉の稲刈を手伝う」..... 子どもたちとの信頼関係、受け入れ者との信頼関係.... 共に過ごす時間が育てる？
 終わりのない手伝いを、とにかくやり続けることの体験は、舞台表現の活動に直結する体験になると思った....が、大人の勝手な理想は打ち砕かれた。けれど、子ども達のことに気を向けず**大人全員がひたすら稲刈りに集中できたこと**がよい空気を生んだかもしれない。その瞬間にできることをやり尽くす大人の在り方が大切！ これからはじまるリハーサル、ただ良い作品になっていくことを最優先に頑張りたいとスタッフで振り返った。



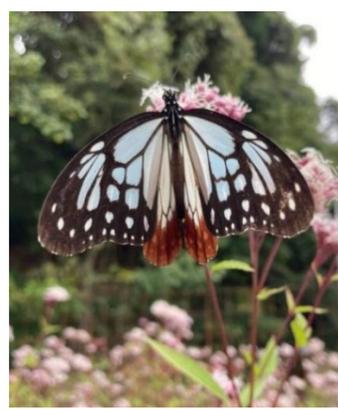
【2】芸術映像鑑賞会と専門家との出会い 「バレエ映像:ジゼル全幕」 ゲスト:篠原聖一氏 …… 当日のパフレットを配布 …… 次年度企画は？

参加申込者15名 参加者11名 *参加人数が少ないため、保護者も別席で鑑賞してもらおう、半数くらいはバレエを習っている子どもだろう。
 ・鑑賞前に篠原氏より、バレエの歴史とマイムの役割についてレクチャーしてもらおう。客席で子どもも保護者もマイムをしている光景は素敵だった。
 ・途中から、トイレ等へ行く子どもが増える、原因は後半映像が見えにくくなってしまったり、物語が抽象的になっていくことなどが考えられる。
 始めてバレエの物語に触れて知ってもらえる機会を提供したいとすると、映像を半分(1幕のみ)にして専門家と生で触れ合うことに同等のポイントを置くのもよいかも知れない。まだ、スタッフで振り返りを持っていない。安易に全員が静かに鑑賞する方法を見出すような振り返りにならないようにしたい。 *見終えた直後の感想を子ども達から直に聞いたかった、と篠原氏。子ども里山で大切にしていること！ここはポイント！！



【3】2021 子ども里山そうぞう学校「山で遊ぶ～白山町二俣～」…… 思い出したい！……子ども達は誰も王道は歩かないんだな(≧▽≦)！

参加者8名 全員出席 *8月1日の初活動以来2か月半ぶりの対面、思ったほど子ども達に緊張はなく、わくわくを感じた。
 ・バス到着場所から、約500mの集落センター。集落センターから約2km弱の神社跡地。 ……ともかくともかくアスファルトを歩かない子ども達！！もちろんアスファルト以外に歩くことのできる(?)崖や山道があるからだけれど、ともかく危険な方へ進む！ う～～～～ん「山で遊ぶ」という題名からしても、これを止めるわけにはいかない、、、ヒヤリ、、、ドキリ。
 ・スタッフの間の一般常識から少し解放できるようになった信頼関係(老若男女異種混合)が、自然の持つ寛容性にプラスできたような、それに少人数活動という条件も、一人ひとりを伸び伸びと集中して遊ぶことを後押しできたような時間だった。



【4】子ども里山・自然活動クラブ 鈴木牧場珠の牧…… 虫取りさえイベントと化している今 自然活動を超える芸術活動へと進めない。

参加者6名 2名欠席 *家庭環境、身心の健康にも恵まれた子どもたちだが、モノや情報にあふれた社会での本能が育つような経験値は低い。
 ・ホストがすごい。子どもたちのために故意的に行動はしていない。「この辺にいる」と虫を見つけ、にっこり笑って木登りを越えた高さまで登ってしまう。子ども達は、お腹がすいた、自由行動がよい、帰りたいなどと『現代の面白くないんですけどー』といった表現をするけれど、このホストの行動に、やってみよう！！という本能的気持ちが溢れ夢中になる。
 この場では見えないけれど、きっとこの子ども達が成長する過程で、この人と共に過ごした経験は、勇気や根気を思いださせてくれるだろう。



所感として 今回は、森劇第二期の提案をこのスタディーで考える機会とするために、森劇の活動の個性に焦点を当ててみました。表向きの活動の裏に潜む今大切なことを大人がそれぞれの経験を通して共有していきたいと願うこと、人と地域を結んで互いに成長したいということは、他者や地域にお世話に(言い換えると迷惑をかけて)なるということかもしれません。しかし、これは事業ですから、みんなにとっていつかいいことに繋がると、自分を信じる(=疑う)ことが大切なのだと思うのです。